

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は
令和6年度第2回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和7年 3月 12日（水） 13：30～14：40

●開催場所

本学園9号館（学術交流会館）3階 934教室

●企業等委員

永井 栄 氏 （医療法人白鷗会 まちだ内科クリニック 事務長）
高坂 麻子 氏 （公益社団法人 青森観光コンベンション協会、
ねぶたの家 ワ・ラッセ 副館長）
樽澤 康太 氏 （株式会社ティエル・マネジメント／青森中央経理専門学校卒業生）
今 順司 氏 （青森県アパレル工業会・株式会社蓬田紳装 取締役工場長）
今 勉 氏 （青森市横内町会 町会長）

●学校側

石田 憲久 （学校法人青森田中学園 理事長、
青森中央経理専門学校 校長、青森中央文化専門学校 校長）
櫻庭 肇 （学校法人青森田中学園 法人本部長）
鈴木 伸吾 （青森中央経理専門学校 主任教諭）
曾我 武 （青森中央文化専門学校 主任教諭）
塚本 大広 （青森中央経理専門学校 教諭）
佐藤 紋子 （青森中央経理専門学校 教諭）
大水 咲良 （青森中央文化専門学校 教諭）
竹洞 春佳 （青森中央文化専門学校 教諭）

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長

青森中央経理専門学校校長

青森中央文化専門学校校長 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和6年度重点目標の状況報告

→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
青森中央経理専門学校の次年度入学予定者の中で、観光コンシェルジュコースは何名か教えてほしい。	観光コンシェルジュコースへの入学予定者は1名。また、志願書が提出されている入学希望者が1名いる。
青森中央経理専門学校2年生の未内定者3名のコースを教えてほしい。	3名全員経理事務コースである。就職活動は継続しており、1名は企業説明会に参加するなど行動している。他2名は少々動きが鈍いところがあるので、こちらから状況確認をする・企業様からご提供いただいた求人情報を提供するなどしてフォローしている。
専門学校は入学試験を実施しているか？その際受験者は、専門知識を身に着けたい等の意欲のもとに専門学校を選んできているか？また、入学後の学習意欲にばらつきはあるか？	入学試験は実施している。それぞれの専門性を選び、各業界への就職を目指して受験していると認識している。また、入学後の学習意欲のばらつきは少なからずある。各業界をイメージして入学してくる学生が多いが、本人の理想と現実が沿わなくなるケースもあるように感じる。
入学試験で面接を実施する際、面接官の立場から見て、印象や受け答え等どう感じるか？	青森中央文化専門学校の受験者は意欲・夢がある印象。入学後は現実とのギャップに苦勞する学生も稀にいる。青森中央経理専門学校の受験者は、医療事務・観光コンシェルジュコースには、専門性のある就職先をイメージして受験している学生が多いと感じる。経理事務コースは間口が広い分、とりあえず資格を取りたい、といった漠然としたイメージで受験している印象を受ける。

「勤務時間外のチャット(Microsoft Teams)」について、これまでの程度の対応を行ってきたのか？	夜～夜中でも連絡がくることは少なからずあり、すぐに返せる場合もあれば、翌朝になって返信する場合もあった。特に就職活動が始まると、学生が休暇期間のエントリーシートの添削依頼などのやり取りをすることがある。学生は気づいたときにチャットを送ってくるような状況。こちらは時間を見て、返せるときに返すようにしている。
「改正法により、令和8年度からの単位制移行～」について、委員はあまり把握していないので、詳しい説明が聞きたい。	文科省で、令和8年度から専門学校も時間管理ではなく、単位制に移行していくという法改正があった。ただし、単位制への移行と言っても、例えば「〇〇の科目が△単位」等も、各専門学校でばらつきがあると難しいこともあり、実際にはまだまだ進んでいないような状況である。既に提出書類等についての連絡は来ているので、諸々決めなければいけないものはある。現在は大学等に編入する際、専門学校で履修した分を単位互換しているが、それも見据えて専門学校も単位制に移行というのが背景にあると考えられる。大学・短期大学は基本的に単位制であり、世間が今の専門学校に、より可能性を付加した結果という見方ができる。これまでは時間が基本的な卒業要件だったが、単位制になると単位を取るための取り組み・試験結果等も加味する必要がある。

5. 令和6年度第1回学校関係者評価委員会からの課題等に対する取り組み状況報告
→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
弊社で実習を受け入れているが、多忙なためつい裏方の仕事をしてもらうことが多かったりする。それが本当にためになるのか気になっていた。	実習に参加した医療事務コース1年生は、かかりつけ医にかかった経験が少ない学生ばかりだったため、受付の中の仕事等を細かく紹介していただいてすごくよかったと言っていた。
専門学校に入学する際、本人の意思・周囲に勧められて等、何がきっかけで入学を決めたのか、という情報は得られているか？入学者数獲得に向けたアピール先の参考になると思う。	入学試験の面接の際に確認している。保護者の紹介の場合と自ら探して来る場合とどちらもあるので、今後の継続のためにも両面でアピールしていく。オープンキャンパスで保護者同行の参加者が多いので、その際に双方の話を伺い、ご家庭で同意の上で入学を考えているかどうかを確認している。
進学の際の決め手は金銭面だと思う。本校は学費等の金額を抑えているのが一番のメリットだと思う。	現在は就学支援新制度の対象校となっており、給付型の奨学金を受ける学生が年々増えている。給付型が受けられれば、人によっては学費と入学金が全額減免になる場合もある。4月からは多子世帯（子供3人以上）の家庭を対象にした所得制限無しの学費減免が適用されるなど、金銭面の心配を減らし、学業に専念できるように、奨学金の制度も幅広くなっている。
入学してくる学生は高校卒業後の18歳か？それとも、20歳以上の社会経験者もいるか？	数は多くないが稀にいる。9割方高卒で進学してくる。
退学の理由は、勉強についていけないから、またはその他の理由か？	今年度のケースは、実家を離れてアパート暮らしをし、アルバイトが優先になってしまう等で学校に来なくなったケースと、障がいを持って入学してきた学生が、途中でメンタルが落ち込んでしまったケースであった。

6. 来年度の委員（案）

→資料に基づき、来年度の委員（案）について説明

7. 来年度の日程（案）

→資料に基づき、来年度の日程（案）について説明

8. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園法人本部長

櫻庭 肇

以上をもって、終了した。